

2012. 5. 5. 1205kyosakura00.htm by Mutsu Nakanishi



1. 醍醐寺の桜
2. 宇治平等院の桜
3. 京都 高野川堤の桜
4. 京都 植物園の夜桜



京都に居ながら、京都の桜の名所 醍醐の桜も宇治平 等院の桜も記憶にないと家内がいう。

4月12日 すっぱり予定がない一日。

京都市内の桜の名所はさけて、京都の桜をゆっくり歩いて楽しもうと家内と二人でぶらぶら出かけました。

また、近くの高野川の堤 松ヶ崎の疎水分流 そして 夜ライトアップされた植物園の夜桜にも。

また、久しぶりの平等院・醍醐寺の桜 やっぱり名所の桜で、人も多いのですが、さわやかな気分。

また、高野川の土手・松ヶ崎疎水の分流もこんなに美しかったのか・・・と再認識。

桜の美しさは訪れた時期と同時に自分の気分で随分 かわるなあ・・・とも。

一日桜を眺めながらの京都Walk。うれしい桜の写真がいくつも撮れました。

京都 桜 walk 2012 2012. 4. 12.



◎ 京都醍醐 醍醐寺の桜 さすが桜の名所 人も多かったですが、素晴らしい桜
境内の淡い桜のトンネルから透けて見える茶席の赤 こんな桜もいい



◎ 宇治平等院の桜 宇治橋から眺める桜満開の土手 初めてでした
家内が言うには、十円玉の鳳凰は雄・雌 両方があって よくあてっこで遊んだというのですが・・・
それよりも 池越しの平等院の正面 枝垂桜の向こうにぼんやり 仏様が見えたのには感激。



久しぶりの平等院「昔行った・見た」はどうもあてにならない。もっと赤が美しかったように思うのですが・・・
 印象の違いの大きなポイントは午後の逆光の中で平等院を眺めたこと次回は午前中に・・・
 知らないついでに宇治のソフトクリームは抹茶を降りかけてくれ、それが良いマッチング。
 素晴らしい春の宇治でした桜の中の宇治 今回はじっくり平等院を拝観しました



◎ 京都市内 下鴨を流れ下る高野川の桜 & 松ヶ崎疎水分流の桜

下鴨神社の南側 出町で西の加茂川と東の高野川が合流して京都市内を流れ下る鴨川
 周囲の景観とあいまって 加茂川堤の桜並木の美しさは良く紹介されているのですが、
 高野川の堤の桜も捲けず劣らずでした



◎ 京都府立植物園の夜桜

周囲が闇にかくれ、桜だけが奥行きのある姿でライトアップされ、桜が一番きれいに見えるのかもしれない。 何度も デジカメでその姿を捉えようとするのですが、ことしもまたピンボケでも それはそれで風情あります。

神戸の一本桜「舞桜」と古都の桜 イメージが次々と膨らむ晴らしい姿に強い印象を受け た今年の桜walk。
 満足でした。



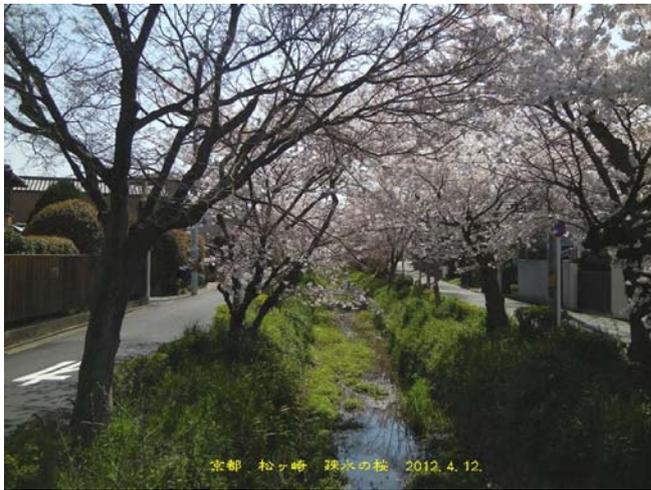
京都 鞍ヶ崎 疎水の桜 2012. 4. 12.

京都 桜 Walk 2012.
2012. 4. 12.

京都に居ながら、京都の桜の名所
醍醐の桜も宇治平等院の桜も記憶に
ないと案内がいう。

4月12日 すっばり予定がない一日。
京都の桜をゆっくり歩いて回ろうと家
内と二人でぶらぶら。

1. 醍醐寺の桜
2. 宇治平等院の桜
3. 京都 高野川堤の桜
4. 京都 植物園の夜桜



京都 鞍ヶ崎 疎水の桜 2012. 4. 12.



京都 桜の名所

醍醐寺 2012. 4. 12.

醍醐寺発祥の地・修験の地 「上醍醐」へは
今回宇治へ行きたくて、よう登りませんでした



醍醐寺 総門前 2012. 4. 12.



醍醐寺 総門の中 仁三門への参道 女門 三宝院の入口 2012. 4. 12.



醍醐寺 仁王門 2012.4.12.



醍醐寺三宝院の桜

2012.4.12.



醍醐寺 三宝院の桜 2012.4.12.



醍醐寺 三宝院の桜 2012.4.12.



醍醐寺 三宝院の桜 2012.4.12.



醍醐寺 三宝院の桜 2012.4.12.



醍醐寺 三宝院の桜 2012.4.12.



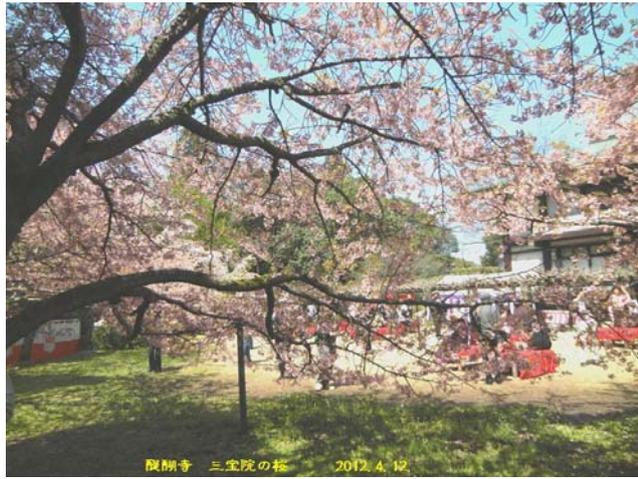
醍醐寺 三宝院の桜 2012.4.12.



醍醐寺 三空院の桜 2012.4.12



醍醐寺 三空院の桜 2012.4.12



醍醐寺 三空院の桜 2012.4.12



醍醐寺 三空院の桜 2012.4.12



醍醐寺 総門の南、仁王門への参道 2012.4.12



醍醐寺 総門の南、仁王門への参道 2012.4.12



醍醐寺 境内で 2012.4.12



醍醐寺 五重塔

美しい相輪・水煙の長さが重層部の1/3を占め、
塔の美しさと重厚さを演出している
初めて知りました。



醍醐寺 五重塔 その堂々とした立ち姿に圧倒されました 2012.4.12.



京阪六地藏周辺

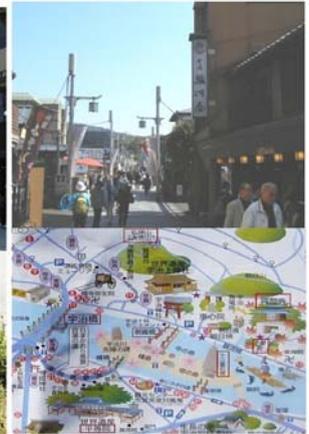
2012.4.12.



桜の宇治 平等院
2012.4.12.



宇治橋から上流側の眺望 2012.4.12.



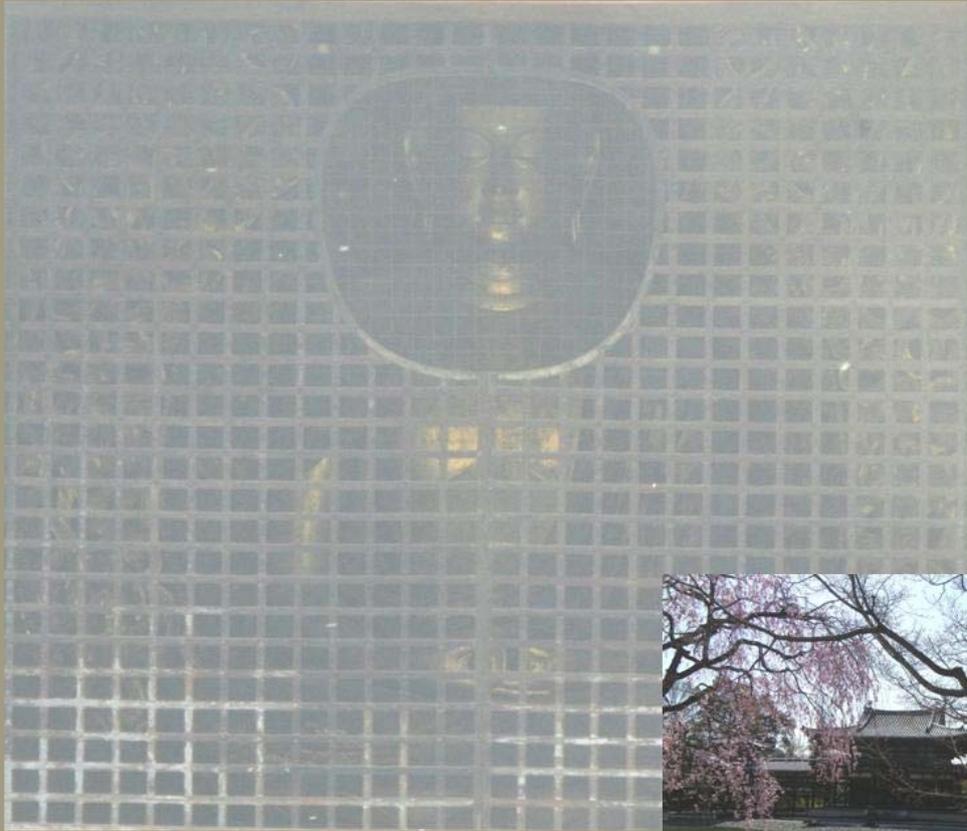
宇治橋のもと 平等院表参道 入口 2012.4.12.





訪れたのが午後だったため、逆光で記憶にある柱の赤がほとんど見えず。また、正面から拝める阿弥陀さんも暗くて目を凝らさないとよく見えません。でも 久しぶりでうれしい。

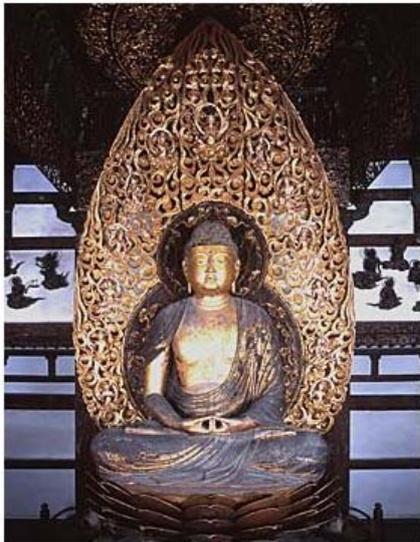




鳳凰堂のご本尊 定朝作 阿弥陀如来像 2012.4.21.



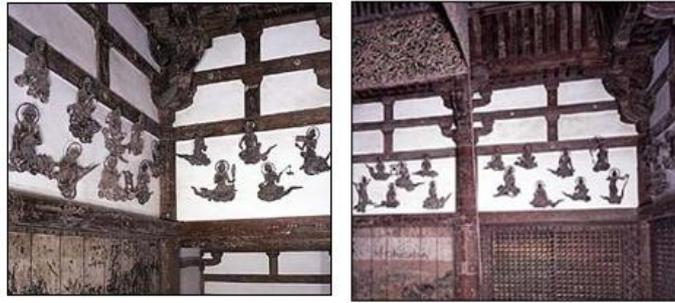
阿弥陀如来坐像



像高278.8cm
髮際高242.1cm
木造、漆箔

鳳凰堂の本尊阿弥陀如来像は、日本の仏像作家を代表する仏師定朝によって平安時代後期、天喜元年(1053)に造られたものです。その構造技法は日本独自の寄木造りの完成した技法を示します。また表現の上でも日本独自の様式、いわゆる和様の完成を見せる点がたいへんに重要です。頬がまるく張った円満な顔。伏目がちですが意外に大きな眼は拝む者を静かに見つめ、その表情はかぎりないやさしさにあふれています。胸を隠して背をわずかにまるめた姿勢には無理がなく、いかにも自然で、どこにも硬い緊張感がありません。

雲中供養菩薩像(全体)



木造、彩色・漆箔・切金

鳳凰堂中堂母屋内側の長押(なげし)上の小壁(こかべ)に懸けならべられている52体の菩薩像。この群像も定朝工房で天喜元年(1053)に製作されたものです。

南北二つのコの字形に本尊阿弥陀如来坐像を囲んでならんでいます。南北半数ずつに分けて懸けられ、各像には北側分は1から26までの、南側分は1から25までの番号を、背面壁から始まり側面壁を経て正面壁にいたる順につけています。南側の最後にある1軀は、他の51軀が国宝指定を受けた後に堂外から発見されたものであり、番外とされています。

各像はいずれも頭光(輪光)を負い、飛雲上に乗ってさまざまの変化(ことんだ)姿勢をとります。5軀は比丘形(僧形)で、他は菩薩形です。比丘形の5軀はいずれも坐像で、3軀は合掌し、2軀は印を結んでいます。菩薩形の像は多くが坐像で、それらはいろいろな楽器を演奏したり、あるいは持物をとったり、合掌したりしています。菩薩形像のうち6軀は舞い姿の立像です。

各像のゆったりとしたやわらかな肉どりや、穏やかな顔立ち、自然な衣文などは本尊阿弥陀如来像に共通しています。

雲中供養菩薩像



雲中供養菩薩

雲中供養菩薩全体



雲中供養菩薩全体

楽器



南4号像 南21号像 南1号像

僧形



南12号像

持物



南3号像 南10号像

舞う像



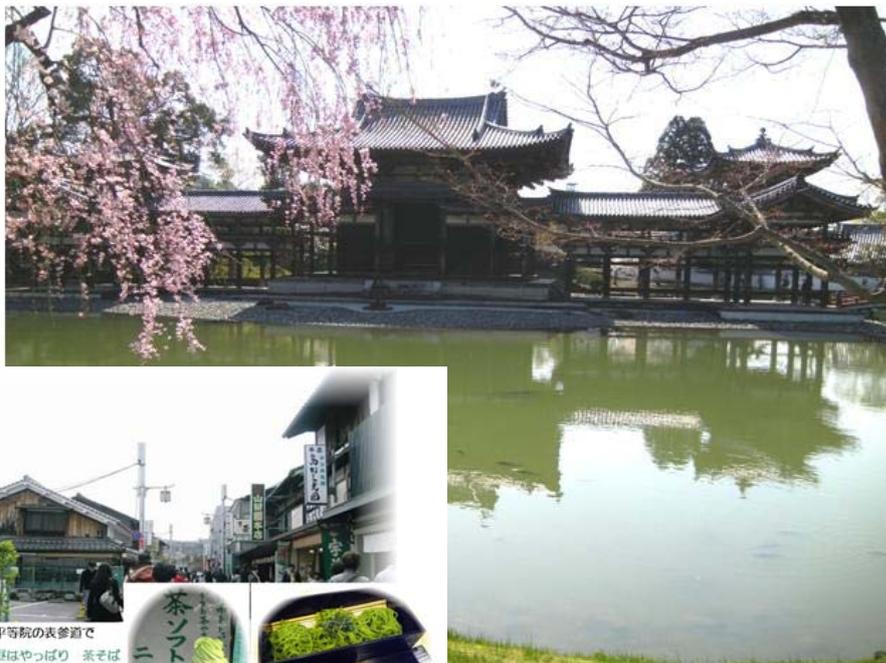
南20号像 北9号像



南2号像



北25号像



久しぶりの平等院

「昔行った・見た」はどうもあてにならない。

もっと赤が美しかったように思うのですが……

印象の違いの大きなポイントは午後の逆光の中で平等院を眺めたこと

次回は午前中に……

知らないついでに宇治のソフトクリームは抹茶を降りかけてくれ、ソレガイイマッチング。

素晴らしい春の宇治でした

桜の中の宇治 今回はじっくり平等院を拝観しました

2012.4.12.



平等院の表参道で
昼はやっぱり 茶そば
抹茶が振りかけられた
茶ソフトクリームも食
べました 2012.4.12.



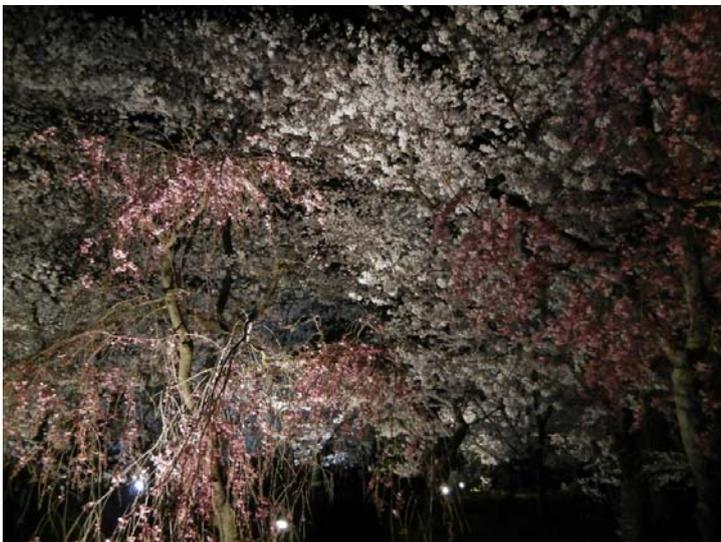
ライトアップ

京都府立植物園 夜桜見物

2012. 4. 12. 夜



京都府立植物園



京都 桜 Walk 2012.
2012.4.12.

おわり

京都に居ながら、京都の桜の名所
醍醐の桜も宇治平等院の桜も記憶に
ないと家内がいう。

4月12日 すっばり予定がない一日。
京都の桜をゆっくり歩いて回ろうと家
内と二人でぶらぶら。

1. 醍醐寺の桜
2. 宇治平等院の桜
3. 京都 高野川堤の桜
4. 京都 植物園の夜桜

京都 桜 Walk 2012. 4. 12.